

## 新型コロナウイルス感染症ワクチン供給等に係る要望について

国・県における様々な支援策や大規模接種・職域接種などにより、早期の接種を希望する住民に応える体制が整いました。また、知事のリーダーシップにより、群馬県では、他県に先んじて県営ワクチン接種センターが開設されたことで、県民が接種しやすい環境となり、深く感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、第4波の収束後、本県では、新規感染者が抑制されております。しかし、デルタ変異株等により、今後も予断を許しません。

また、ワクチン接種については、高齢者への接種が順調に進んでおり、7月末までに終わることを目標として、各自治体では、ワクチン接種に対し懸命な努力を行ってきました。

併せて、市町村においては、64歳以下の接種を進めようとしたところ、ワクチンの供給が希望量を満たさず、多くの現場では混乱しております。当面、現在の接種体制を維持し、住民の希望通り、いち早く接種を完了するためには、市町村に対するワクチンの安定供給が欠かせません。

そこで、下記のとおり、ワクチン供給に係る要望について、国・県として対策をお願い申し上げます。

加えて、今回のワクチン接種は新型コロナウイルス感染から国民を守るために実施するものであり、自治体間のワクチン争奪や接種率の高低を争うような風潮を作り出さないよう配慮をお願い申し上げます。

### 記

- 1 市町村に対するファイザー製ワクチンの安定供給
  - ・ 希望者ができるだけ早く接種できるように、市町村へ優先するなど安定供給に配慮されたい。
  - ・ 市町村への配分については、ワクチン供給スケジュールの早期提示をされたい。
  - ・ ワクチンの在庫調査及び配分調整の十分な実施と市町村希望量への配慮をお願いしたい。
- 2 市町村のワクチン接種における接種体制の見直し
  - ・ 今後、市町村接種・自治体大規模接種・職域接種等の接種体制とワクチン供給量等を見直し、課題克服に向け、国・県において接種体制の再構築を進めていただきたい。
  - ・ 将来的には、国産ワクチンの早期開発による、供給不安の解消をお願いしたい。

令和3年7月12日

群馬県知事 山本 一太 様

群馬県市長会長 清水 聖 義

群馬県町村会長 茂原 荘 一